

入札仕様書等に関する回答書

令和6年5月9日

企画調整部デジタル変革課長

No	日付	整理番号	質問内容	回答
1	4月26日	1	更新プログラムの配布・取得・適用、及びこれに伴う利用環境への負荷を考慮した設計であること。においてどの程度ネットワーク帯域が利用可能かをご教示ください。	帯域が不足する場合は増強する事も検討しますが、1Gbps程度を見込んでください。
2	4月26日	2	「不要となったユーザーは、削除可能であること。」 「不要」という状態については、一般的に以下のような観点から判断されることが多いです。もし可能であれば、これらの観点が適用される具体的なケースについてご教示いただけますでしょうか。 1. イベントに基づく削除：例えば、アカウントの利用者が退職するなどして組織に存在しなくなった場合などです。 2. 定期的な利用状況の確認による削除：例として、長期間にわたって利用ログがないアカウントを削除する場合などが挙げられます。	お見込みのとおりで、職員の退職及び長期的な休職、アカウントを登録したものの、実際には利用する必要がないと認められる場合を想定しています。
3	4月26日	3	「セキュリティやガバナンスを十分に考慮した上で、利便性を損なうことの無い設計であること。」 設計要件、制約、および対象範囲についての明確なご説明をいただけますでしょうか。 Microsoft Entra IDの機能は非常に広範にわたっており、どの機能がどの範囲に適用されるのか（認証制御、アプリケーション、B2Bゲストなど）が具体的に理解できておりません。必要とされるセキュリティ対策の程度について、詳細な要件やポリシーをお教えいただけませんか。	詳細については、6.2要件定義に示すとおり、本仕様書を踏まえて、発注者及び統括保守管理事業者に詳細な要件を確認して決定することになります。 併せて、福島県情報セキュリティポリシーに則った検討及び設計が必要になることもご認識ください。
4	4月26日	4	「認証・認可、及び権限などの設定は、発注者及び統括保守管理事業者と十分な協議のうえ実施すること。」 「十分な協議」とは、どのような状態を指すのでしょうか。基準が明確でないため、協議のプロセスを含め、協議を行う際の具体的なガイドラインをご提供いただけますでしょうか。	詳細については、6.2要件定義に示すとおり、本仕様書を踏まえて、発注者及び統括保守管理事業者に詳細な要件を確認して決定することになります。 また考え方としては、発注者及び統括保守管理事業者が納得することが、十分な協議とご認識ください。

No	日付	整理番号	質問内容	回答
5	4月26日	5	<p>「運用開始後、講じた情報セキュリティ対策の有効性などの確認が可能な設計であること。」 情報セキュリティ対策の有効性を測定するための具体的な指標や方法について、詳細なご説明をいただけますでしょうか。</p> <p>セキュリティ機能の有効性は試験時に確認することが一般的ですが、発注者様や統括保守事業者様が定期的にこれらの試験を再実行できるような状態するという理解でよろしいでしょうか。それにより、セキュリティ対策の継続的な改善と効果の確認が行えと考えられます。</p>	<p>詳細については、6.2要件定義に示すとおり、本仕様書を踏まえて、発注者及び統括保守管理事業者に詳細な要件を確認して決定することになります。</p> <p>セキュリティ機能の有効性の確認作業は発注者及び統括保守管理事業者が実施しますが、賃貸借期間中にその有効性が失われる場合は、受注者の責任において速やかに有効な対策を講じる必要があります。また、8.1.1保守支援要件(1)ウに記載のとおり、受注者が実施するオンサイト点検（年1回以上）において受注者自身によるセキュリティ対策の有効性の確認も含むものとご認識ください。</p>
6	4月26日	6	<p>「不要となったユーザーを自動で削除できるように、アクセスレビュー を作成すること。」 Microsoft Entra ID のアクセスレビューをご利用いただくには、Microsoft Entra ID Governance または Microsoft Entra ID P2 ライセンスが必要となります。</p> <p>今回の調達にはこれらのライセンスが含まれていないため、もし既にライセンスをお持ちである場合や、他の方法で利用可能な状態にある場合は、その旨をお知らせください。</p> <p>また、Active Directoryから同期されたユーザーは Microsoft Entra ID では削除ができませんので、削除が可能なユーザーは、Microsoft Entra ID で直接作成されたユーザーに限られます。ご理解いただけますと幸いです。</p>	<p>5.2 ライセンス内容 (1) 調達対象ライセンスで示す内容となり、既存ライセンスは保有していません。</p> <p>詳細については、6.2要件定義に示すとおり、本仕様書を踏まえて、発注者及び統括保守管理事業者に詳細な要件を確認して決定することになります。</p> <p>既存ライセンスでアクセスレビューが使用できない場合は、発注者及び統括保守管理事業者と協議のうえ代替案を検討するものとご認識ください。</p>
7	4月26日	7	<p>「Microsoft Entra Connect をインストールしたサーバは、適切なアクセス権限が考慮された設定であること。」 「適切なアクセス権限設定」とは、システムやデータへのアクセス権限が、そのユーザーの職務や役割に必要な範囲内でのみ与えられている状態を指しますでしょうか。</p>	<p>詳細については、6.2要件定義に示すとおり、本仕様書を踏まえて、発注者及び統括保守管理事業者に詳細な要件を確認して決定することになります。</p>
8	4月26日	8	<p>「アカウント情報を格納するデータベースは、将来を踏まえ格納されるアカウント情報の規模を考慮した設計であること。」 Microsoft Entra Connect のご利用にあたり、利用アカウント数が10万アカウントを超えた場合は、別途 SQL サーバーの準備が必要となります。</p> <p>今回のライセンス調達の件数や他社様の事例を考慮すると、将来的に10万アカウントを超える可能性は低いと弊社も考えております。</p> <p>しかし、何かご懸念されている点がございましたら、具体的な背景などをお聞かせいただけますでしょうか。</p>	<p>5.2 ライセンス内容 (1) 調達対象ライセンスのライセンス数を予定しています。</p> <p>規模を考慮した設計とは、単にアカウントの数だけでなく、将来的にEntaraIDへ引き渡すADの拡張属性も含んだ設計を求めるものとご認識ください。</p>
9	4月26日	9	<p>【3.5 システムの全体概要】の現状(P4)には Active Directory の記載がなく、更改後(P5)に記載があることから、Active Directory を新規で調達するように見受けられる一方で、【4.3 Microsoft Entra Connect】(1)には「従来使用しているアカウント情報で」との記載もあります。</p> <p>Active Directory は既に運用されており、本調達に含まれない認識で相違ございませんでしょうか。</p>	<p>構築内容は、6.6 環境構築のとおりです。</p> <p>現状で Active Directory は既に運用しております。</p>

No	日付	整理番号	質問内容	回答
10	4月26日	10	<p>※Active Directory を既に運用されている場合や Active Directory の調達が本調達に含まれる場合はご回答不要</p> <p>Active Directory の調達を本調達に含まないものの、新規で構築される場合、P3【3.3 調達スケジュール】構築検証期間までに構築が完了する認識で相違ございませんでしょうか。</p>	<p>構築内容は、6.6 環境構築のとおりです。</p> <p>現状で Active Directory は既に運用しております。</p>
11	4月26日	11	<p>【4.2 Microsoft Entra ID】(2)に「ID、パスワードでの認証が可能であること。」との記載がありますが、IDやパスワードの認証をクラウド上で利用するにあたり、貴県のポリシーがある場合はご教示ください。</p> <p>例)クラウド環境にパスワードを保持(同期)することは許容できない等</p>	<p>詳細については、6.2要件定義に示すとおり、本仕様書を踏まえて、発注者及び統括保守管理事業者に詳細な要件を確認して決定することになります。</p>
12	4月26日	12	<p>【3.5 システムの全体概要】の現状(P4)から、ZoomやWebEXをご利用のようにお見受けしておりますが、Microsoft Entra ID とのアプリケーション連携は本調達に含まれない認識で相違ございませんでしょうか。</p>	<p>詳細については、6.2要件定義に示すとおり、本仕様書を踏まえて、発注者及び統括保守管理事業者に詳細な要件を確認して決定することになります。</p>
13	4月26日	13	<p>P11【6.6 環境構築】に「既存機器の設定変更は、受注者が検証環境の構築及び検証と変更設計を実施し、」との記載がありますが、P6【表3.6.2-1 作業役割分担表】に記載の作業項目のうち、本調達において、本番環境と検証環境において、それぞれ作業対象となる作業項目をご教示ください。</p> <p>例1：本番環境と検証環境の両方で全ての作業項目が作業対象となる</p> <p>例2：検証環境には Microsoft Entra ID やMicrosoft Entra Connect がないため、検証環境では既存機器の設定支援のみが対象となる。本番環境は全ての作業項目が作業対象となる</p>	<p>構築内容は、6.6 環境構築のとおりです。</p> <p>6.6.2 新規構築サーバの設計及び設定、既存機器の設計及び設定支援のとおり、既存機器は設計及び設定支援となります。</p>
14	4月26日	14	<p>P10【6.6 環境構築】について、既存機器の設定変更以外の作業に関する作業場所や作業端末に関する貴県ポリシーがありましたらご教示ください。</p> <p>例1：クラウドサービスに対しても、新規構築サーバ(Microsoft Entra Connect)に対しても、作業は貴県LGWAN ネットワーク内から、LGWAN 端末で行う必要がある</p> <p>例2：新規構築サーバ(Microsoft Entra Connect)の作業は福島県データセンターで実施する必要があるが、クラウドサービスはクラウドサービスに接続可能な端末(受注者が業務で利用しているPC等)から作業を実施することも可能</p>	<p>詳細については、6.2要件定義に示すとおり、本仕様書を踏まえて、発注者及び統括保守管理事業者に詳細な要件を確認して決定することになります。</p>
15	4月26日	15	<p>P8【表6.1-1 納品物一覧表】に関連して、ヒアリング・お打ち合わせ・納品物レビューに関する貴県ポリシーがありましたらご教示ください。</p> <p>例：ヒアリング・お打ち合わせ・納品物レビューはリモートでも可能だが、納品物レビューはご承認までのリードタイムとして5開庁日(営業日)考慮する必要がある</p>	<p>詳細については、6.2要件定義に示すとおり、本仕様書を踏まえて、発注者及び統括保守管理事業者に詳細な要件を確認して決定することになります。</p>
16	4月26日	16	<p>P7【4 機能要件】4.3 Microsoft Entra Connect に関連して、Microsoft Entra Connect の仕様上、Active / Active の冗長構成は行えないものの、Active / Standby の冗長構成は行えます。</p> <p>Microsoft Entra Connect の冗長構成に関して貴県のポリシーがありましたらご教示ください。</p> <p>例：Microsoft Entra Connect は Active / Standby の2台による冗長構成とする</p>	<p>詳細については、6.2要件定義に示すとおり、本仕様書を踏まえて、発注者及び統括保守管理事業者に詳細な要件を確認して決定することになります。</p>

No	日付	整理番号	質問内容	回答
17	4月26日	17	P.10【6.5 切り替え・移行設計】「移行作業後の翌開庁日は福島県データセンターで待機する」について、差し支えなければ福島県データセンターの所在地もしくはアクセスをご教示ください。	受注者のみお知らせしますが、県庁または福島駅から自動車で10分以内の場所とご認識ください。
18	4月26日	18	6. 8教育研修における研修スコープはどこまでを想定されておりますでしょうか。	詳細については、6.2要件定義に示すとおり、本仕様書を踏まえて、発注者及び統括保守管理事業者に詳細な要件を確認して決定することになります。 システムの運用及び保守を実施するのは発注者及び統括保守管理事業者です。したがって、運用面では日々の運用に必要な知識や操作方法、保守面では本システムの安定稼働に必要な保守作業に関する知識や操作方法、および障害発生時におけるトラブルシューティング方法の研修とご認識ください。またその研修の具体的内容は、本仕様書で示す納品ドキュメントに沿った内容とし、詳細については発注者及び統括保守管理事業者に詳細な要件を確認して決定することになります。
19	4月26日	19	「既存機器の設定変更は、受注者が検証環境の構築及び検証と変更設計を実施し、既存機器の設定変更は、統括保守管理事業者が実施する」とあるが、ルータとロードバランサーは何を使用していますか。型番とOSを教えてください。 また、今回機器の指定が無い状態での提案となるため今回の短期間の構築に間に合わせるために、対象機器について事前検証のための貸し出しをお願いしたいが可能か。	ルータとロードバランサーの型番とOSについては入札公告「3」に記載の宛先までお問い合わせください。 事前検証のための機器貸し出しは対応不可とご認識ください。 ※検証環境の費用も本案件に見込むこと
20	4月26日	20	作業役割分担表における運用支援の定義は、どこまでを想定し、障害対応も含めるのか。 また、Entra Connectの障害対応においては、リモート対応も許容されるのか。	8 保守運用支援要件に記載のとおりです。したがって障害対応も含まれるものとご認識ください。なお、障害対応は統括保守管理事業者と連携が必要になることからリモート対応は想定しておりません。